

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		女性機能病態医学特論Ⅱ				(太田 啓明)	
開講年次		共通/専攻/選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
(1) 婦人科腫瘍の診断, 治療法を習得するため, 婦人科腫瘍学を理解する。 (2) 婦人科腫瘍に関する研究の方法論を理解して, 研究を遂行できる能力を習得する。							
授業到達目標							
(1) 婦人科腫瘍の診断法を具体的に説明できる。 (2) 婦人科腫瘍の治療法を具体的に説明できる。 (3) 婦人科腫瘍に関する最新の論文を読み, その内容を理解する。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎月	第1・2・3・5月	18:00-19:00	太田 啓明	講義	[抄読会]	産婦人科学のとくに婦人科腫瘍関係の英文論文を紹介し, それに対する考察・討議を展開する(産婦人科学1と合同)。これら内容を日常の研究, 臨床に役立てる。 [場所:本館棟3階カンファレンスルーム他]
2	毎週	月	8:00-9:00	太田 啓明	講義	[症例検討会]	婦人科腫瘍学・産婦人科学1合同症例検討会の中で良性疾患, 悪性疾患を問わず各症例の診断から治療に至る流れを検証し, その妥当性を検討する。 [場所:本館棟3階カンファレンスルーム他]
3	毎週	水・金	8:30-9:30	太田 啓明	講義	[症例検討会]	婦人科腫瘍学・産婦人科学1合同症例検討会の中で良性疾患, 悪性疾患を問わず各症例の診断から治療に至る流れを検証し, その妥当性を検討する。 [場所:本館棟3階カンファレンスルーム他]
評価方法							
(1) 1年間※で, 講義は30時間出席し, 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい, 提出する。 (2) 1年間※で, 論文紹介または症例発表を2回行い, その要約2編を提出する。 ただし, 特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 ※2月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁:単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
要約について, 添削して返却する。							
教科書							
ISBN-978-4315918927, 症例から学ぶ婦人科腫瘍学入門(改訂第2版), 井上 正樹, 永井書店, 2011							
参考書							
ISBN-9781441904881, Blaustein's Pathology of the Female Genital Tract (6th Edition), Robert J. Kurman, Springer, 2011							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 講義ごとに紹介する論文を次回までに読んでおく。さらに関係する文献を調べておくこと。 (2) 紹介された論文の要約を作成する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し, 仮説立案, 検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
婦人科腫瘍専門医の資格取得には, がん治療認定医資格の先行取得が必須となっています。							